



世界に羽ばたけ—志賀島で大学院生・若手研究者による文部科学省グローバル COE 国際シンポジウム

概要

若手研究者が将来、世界を舞台に活躍するために必要なネットワークづくりを目的とする国際シンポジウムを、文部科学省グローバル COE (G-COE) 九州大学拠点「未来分子システム科学」の呼びかけにより開催します。オーストラリア、台湾、韓国・延世大学、九州大学の若手研究者による特別講演 12 件の他、延世大学 (20 名)、全国の化学・材料系グローバル COE 拠点 (22 名)、ならびに九州大学 (28 名) の大学院生も研究発表ならびに討論を行い、国際レベルの若手研究者ネットワークを構築します。

■背景

九州大学 G-COE 「未来分子システム科学」(平成 19—23 年度、拠点リーダー 君塚信夫 工学研究院応用化学部門 主幹教授)では、これまで世界を舞台に活躍することができる国際第一級の博士課程学生ならびに若手研究者の育成に尽力してきました。世界を舞台として活躍してゆくためには、国際レベルの実力をつけると同時に、大学・国境の壁をとりはらった研究者ネットワークの一員となる、あるいは新しい学問のネットワークをつくってゆく能力が必要です。

本年度はこの G-COE プログラムの最終年度にあたり、G-COE における教育研究活動の集大成として、若手研究者による分子システム科学国際シンポジウムを開催する運びとなりました。大震災後の国家存亡の時に際して、このシンポジウムを単に一大学の行事としてではなく、全国の化学・材料系 G-COE 拠点に呼びかけて若手研究者や博士課程学生を集め、若手のための国際ネットワーク(研究人脈)づくりを目的として開催します。

■内容

平成 23 年 5 月 9 日より 11 日まで、福岡市海の中道ルイガンズで 2011 分子システム科学国際シンポジウムを開催します。若手研究者中心のシンポジウムであり、従来の単なる研究発表・討論のみにとどまらず、フリーディスカッションを通じて国内外の若手研究者との知己を得、情報交換を行い、日本を核とする若手ネットワークを育成するためのシンポジウムです。学術的にも最先端レベルの発表が目白押しで、大学の枠組みや国境を越えたグローバルな発表、議論が期待されます。初日は彼らの目標となる先生方の世界トップレベルの発表を聴き、二日目、三日目はまさに若手研究者が主役です。若手研究者、大学院生が口頭発表、ポスターなどで存在感をアピールします。今回の震災で深刻な被害を被った東北大学の G-COE 拠点からも大学院生が参加し、研究発表を行います。また、ポスターセッションでは 46 件もの発表が予定されており、このうち優秀ポスター 7 件を表彰いたします。

九州大学 G-COE 拠点「未来分子システム科学」の、全国の G-COE 拠点に対する呼びかけにより実現する運びとなったこのシンポジウムは、文部科学省 G-COE プログラムの精神ならびに成果を、今後の我が国の若手研究者育成に生かすためのマイルストーンとなることが期待されます。

■期待される効果

- ・若手研究者、博士課程学生の国内ならびに国際的なネットワーク(人脈)づくり
- ・英語を自由にあやつりコミュニケーションできる若手研究者・大学院生の育成
- ・大学や国籍の壁を越えた若手研究者の共同研究・連携の端緒
- ・若手研究者が将来、国際舞台で活躍するために必要な自信の獲得

■今後の展開

- ・参加者(若手研究者・博士課程学生)間の大学・国籍を超えるネットワーク形成
- ・上記ネットワークの基づく人的交流を基盤とする連携・共同研究の発展

【用語解説】

・文部科学省グローバル COE プログラム: <http://www.jsps.go.jp/j-globalcoe/index.html>

平成 14 年度から文部科学省において開始された「21 世紀 COE プログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、国際的に卓越した研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的とする事業。

・九州大学グローバル COE 拠点「未来分子システム科学」: http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/gcoe/index_j.php

「未来分子システム科学」の新分野を開拓・発展させ、分子システム科学をコアとする世界最高水準の先端化学教育研究拠点を構築することを目的とする文部科学省グローバル COE プログラムの九州大学拠点（拠点リーダー：君塚信夫 工学研究院 応用化学部門 主幹教授）です。

生命（細胞）における分子システムは、生命情報活動の根幹をなしていますが、化学的観点から分子ネットワークシステムを研究し、その原理を高機能材料の開発へ展開する学問領域は未開拓です。本拠点においては、様々な階層（ナノ、マイクロ、マクロ）レベルにおいて分子情報やエネルギーの伝達・変換機能を発現する新しい分子材料、ならびに分子システムの開発を行っています。さらに、その成果をインテリジェントな触媒、分子エレクトロニクス材料や、イオン・電子伝導システム、ドラッグデリバリーシステム、生命情報変換システムなど、革新的な分子システムやデバイスの創製に結びつけて未来の化学技術を生みだすことを目指しています。このように、生命分子システムの知恵を学び、新しい化学の分野を創造することのできる研究者の育成を行っています。

【お問い合わせ】

工学研究院特任教授 分子システム科学センター
財部 邦英（タカラベ クニヒデ）
電話：092-802-2934
（携帯電話 080-1054-5197）
FAX：092-802-2934
Mail：ktakarabe@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp

The 2011 International Symposium on Molecular Systems

~Global COE Symposium for Young Researchers~

9th – 11th May, 2011 at The Luigans, Fukuoka, Japan

(9th May 1:00 p.m.~, 10th May 9:00 a.m.~, 11th May 9:00 a.m.~)

Plenary Speakers

Jye-Shane Yang

Professor
Department of Chemistry, National Taiwan University
Molecular Design with a Nonplanar H-Shaped Rigid π -Scaffold

Muthupandian Ashokkumar

Professor
School of Chemistry, University of Melbourne
The Sonochemical Synthesis of Functional Materials

Invited Speakers from Yonsei University

Yong-Rok Kim

Professor
Department of Chemistry
Unique Photo-Electronic Properties of Mesoporous TiO₂ Nanocomposites with Au QD

Dongho Kim

Professor
Department of Chemistry
The Role of Electronic Couplings in Photophysical Properties of Various Molecular Assemblies

Kyu-Sung Jeong

Professor
Department of Chemistry
Oligoindole-Based Anion Receptors

Jinsung Tae

Professor
Department of Chemistry
Rhodamine Amide-Based Fluorescent Chemosensors

Dongil Lee

Associate Professor
Department of Chemistry
Electrochemistry of Quantum-Sized Gold Nanoparticles and Their Applications

Woo-Dong Jang

Associate Professor
Department of Chemistry
Biomimetic Design of Functional Porphyrin Derivatives

Speakers from Kyushu University

Tamao Ishida

Associate Professor
Department of Chemistry, Faculty of Sciences
One-Pot N-Alkylation of Amine with Alcohol over Supported Gold Nanoparticles Catalysts

Tsuyohiko Fujigaya

Associate Professor
Department of Applied Chemistry, faculty of Engineering
Hierarchic Functionalization of Carbon Nanotubes Based on Non-covalent Assembly for Fuel Cell Electrocatalyst

Hidetaka Nakai

Associate Professor
Department of Applied Chemistry, Faculty of Engineering
Photochromism of Organorhodium Dithionite Complexes in the Crystalline-State

Takuma Yasuda

Associate Professor
Department of Applied Chemistry, Faculty of Engineering
Development of Nanostructured Liquid-Crystalline Semiconductors

Young Researchers' Presentations (24 Oral & 46 Poster) from:

- ▶ Yonsei University (20)
- ▶ G-COE Other University (22)
- ▶ G-COE Kyushu University (28)

Admission free

Tel: 81(0)92-802-2900 Fax: 81(0)92-802-2935 Mail: gcoe_office@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp

HP: <http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/gcoe/jpn/symposium/2011/05/2011.php>

Kyushu University Global COE Program "Science for Future Molecular Systems"

Kyushu University International Research Center for Molecular Systems

